

つうしん宙 9月号 令和4年度



星の子愛児園「地域子育て支援センター宙」TEL：044-944-1515(9時～16時)

<http://www.aijien-kawasaki.com>

(専用ホームページアドレス) <https://pokkapoka.jp>

【開館曜日】月～金(祝祭日は休みです)






【開館時間】(ホール) 9:00～11:50

13:00～16:00

(園庭) 13:30～16:00

- ・初めて来所される方は、前日までに必ず専用ホームページにて来所予約をしてください。
- ・初回は星の子愛児園入り口よりインターフォンを押し、「宙初めて利用」と伝えてお入りください。

8月はあまりの暑さにテラスや園庭での戸外遊びができる日が少なかったですが、これからは、戸外遊びを楽しめる季節なのでたくさん体を動かして遊びたいです。

月	火	水	木	金
<div style="border: 1px dashed orange; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block;"> <p>お誕生月に 記念日写真が撮れます</p>  </div>			1	2【予約制】 一時預かり保育 2園合同説明会 13:00～13:45 (10組程度) 宙は通常通りです
5 身体測定 10:00～11:00 13:00～15:00 	6	7 赤ちゃんこんにちわ (4ヶ月頃までの 赤ちゃんの時間) (毎週) 13:00～13:45	8【予約制】 イヤイヤ期講座 10:40～11:40 (15組程度) 裏面参照	9 午前のホール 開放は10:30 までです
12【予約制】 のびのび遊ぼう 2歳～ 10:00～11:30 (10組程度) 裏面参照	13 午前中は 予約の方 のみです	14	15 午前中は 予約の方 のみです	16 
19 敬老の日	20 身体測定 10:00～11:00 13:00～15:00 	21	22【予約制】 のびのび遊ぼう 2歳～ 10:00～11:30 (10組程度) 裏面参照	23 秋分の日
26 	27	28	29 今月の製作 10:00～11:00 13:00～15:00	30

予

一時預かり保育説明会 2日(金)

星の子愛児園・菅の子愛児園の
一時預かり保育の合同説明会です。

パート就労等で定期的に利用されたい方
育児のリフレッシュや通院で利用されたい方
お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ・お申し込みは

専用ホームページにて予約をしてください。

10組までとなっています。

予

イヤイヤ期講座 8日(木)

何をやってもイヤイヤする…機嫌が悪い…
どうすればいい?
そもそもイヤイヤ期って何?と
お困りの方…是非参加して下さい。

【対象】 特になし

【時間】 10:40~11:40

【定員】 15組程度

【申し込み】 8月29日(月)~

(宙ホールにて)

*キャンセルは当日9:30までに
ご連絡ください



予

のびのび遊ぼう 12日(月)22日(木)

2歳以上のお子さんが楽しめるよう計画してい
ます。
毎回人気の行事なので、今月は2日に分けて行
います。どちらかの日を選んで、予約をしてく
ださい。

【対象】 2歳~
(下のお子さんと一緒に参加できます)

【時間】 10:00~11:30

【定員】 10組程度

【申し込み】 9月1日(木)~ (宙ホールにて)

*キャンセルは当日9:30までにご連絡ください

育児相談について



ゆっくり話を聞いて欲しいけ
ど、人前だと話にくいという方
へ個別の育児相談を始めました。

専用ホームページ「地域子育て支援セン
ター宙」の「育児相談予約」にてお申し込
みください。

尚、ホールでも今まで通り育児
相談できますので、お気軽に
声を掛けてください。



~避難訓練について~

保育園では、毎月避難訓練を行っています。訓練の内容は月によって違い、火災や地震、多摩川の氾濫等を想定し災害に応じた避難方法や経路を確認しています。

宙でも、避難訓練の日は、遊びに来ている保護者の方に声を掛けて、遊びを一時中断して保育者の所に集まってもらいます。

実際に災害が起こった時の宙の避難経路は、外階段から降りて裏門から園外に出るルートとテラスから避難用の滑り台で1階まで避難するルートとがあります。

外階段のルートでは途中から、一時預かりの子ども達や園児も避難してきますので、慌てず一緒に避難をしてください。

裏門が避難経路になるため、普段から門の前は広く開け、避難用のワゴンが通れるようにしておく必要があります。そのため、ベビーカー等は必ず畳んでベビーカー置き場にしまってください。

災害はいつ起こるかわかりません。日頃から頭の片隅に入れて、実際に起きても、落ち着いて子どもたちを守っていけるようにしていきたいです。